



三代徳田八十吉 耀彩大皿「石畳」・「芽生」
古今合にもある「石畳」の文様を彩釉磁器に映した作品
「石畳」と、さらに釉薬を溶解させ生み出された「芽生」。

歴代九谷にみる離合

まねぶ。特別展

manebu.



若杉窯 色絵牡丹図中皿（清朝時代の十錦手写）
小松市立博物館蔵

＝「^{ほんか}本歌」と「^{うつし}写」＝

「写」とは、美術工芸品などの基準となる作品をなぞらえ、形状や模様・図柄を模倣した作品。
もととなった作品は、和歌の^{ほんか}本歌取りから、「本歌」と称されます。
江戸時代中期以降、文人趣味と相まって
中国明・清の陶磁器の人気の庶民にも及び、
高まる需要に応えるように日本各地に諸窯がおこります。

「学び」は模倣に始まる
「学ぶ」、日本の古語では「まねぶ」とあらわされます。
「まねる（真似る）」と語源を一にし、模倣することを指します。
真似に始まり、やがて離れる。
若杉窯、八十吉と松雲堂歴代の「学び」をご高覧ください。
そこには加賀小松町人の文人趣味への傾倒があらわれています。



「古九谷写鉢」
初代松本佐吉 個人蔵

なんと！ロクきょうだい？？
幾度となく手本とされ写された古九谷色絵鉢。
初代八十吉をはじめ、松雲堂歴代の中でも
初代松屋菊三郎の孫で、「定本 九谷」の著者
松本佐太郎の箱書を持つ「写」も初公開。
いずれにしてもレアな六兄弟、見参！

2025年 9月6日（土）—12月7日（日）

休館日：水曜日・祝日の翌平日 開館時間：9:00～17:00（入館 16:30 迄）

イベント

◆ ギャラリートーク 『加賀小松町人のまねびと文人趣味』

日時
9月14日（日）10:30～11:30
11月1日（土）10:30～11:30
11月20日（木）10:30～11:30
申込：不要

◆ ふれてみる会

日時
9月14日（日）11:30～12:00
11月20日（木）11:30～12:00
人数：8名（先着）
申込：錦窯展示館 電話にて

◆ 聞香入門 小松町人にまねぶ

日時
11月15日（土） 午前部 10:00～12:00
午後部 13:00～15:00
人数：各回6名（先着）
申込：錦窯展示館 電話にて



展覧会詳細

※いずれも参加費無料、入館料別途 / TEL: 0761-23-2668（錦窯展示館）

小松市立 錦窯展示館
NISHIKIGAMA Gallery
石川県小松市大文字町 95-1

入館料

一般 300 円（20 名以上団体 250 円）
こまつミュージアムパス対応
高校生以下、小松市在住 65 歳以上 無料
障害者手帳等をお持ちの方とその介助者 1 名は無料

